

一般財団法人 京都ボーイスカウト振興会
第8回 定時評議員会 議事録

日 時 平成28年5月18日(水) 10:00~11:00
会 場 京都ホテルオークラ 3F 金剛の間

出席者 [現在数10名、定足数6名、出席者数9名]

荒巻隆三、一守益男、國友政治、高林伸樹、長谷川英文、福原 洋、
西村伸次、山崎伊佐緒、山科隆雄

欠席者 植田喜裕

参席者 理事長 荒巻禎一

理事 羽生田寂裕、八木 茂、大西孝雄、川西通夫、篠田恒夫、中村三之助
監事 柳澤 傳

議 案 第1号議案 平成27年度 事業報告書の承認の件
第2号議案 平成27年度 決算報告書の承認の件
第3号議案 公益目的支出計画実施報告書の承認の件
第4号議案 理事・監事・評議員の選任の件

開会宣言 八木 茂常務理事より開会宣言。

挨拶 荒巻禎一理事長より挨拶

◇今回、任期満了に伴い、理事長を退任される旨のご挨拶があり、就任された4年間に振り返って、3年前の世界スカウト財団名誉総裁カール16世グスタグ・スウェーデン国王の入洛による第66回世界財団晩餐会の京都開催、昨年、京都連盟が100周年を迎えたとともに、43年ぶりに世界ジャンボリーが日本で開催されたことについて所感を述べられた。

[第1号議案] 平成27年度 事業報告書の承認の件

八木常務理事より、同議案につき、別紙事業報告書に基づき次の内容説明及び諮問がなされた。

・京都ボーイスカウト100周年・世界ジャンボリー日本開催の機会を捉え、府民・市民の方々に、ボーイスカウト活動を再認識して頂くため、11月1日付の京都新聞朝刊15段カラー版で、告知広告を掲載した。

内容的には、京都ボーイスカウト活動の変遷や、現況を紹介し、ボーイスカウト活動

は『国際的な広がりのある、グローバルな地域の教育力』としての認知度を高めたいということ、本会の法人会員様55法人の一覧表を掲載し、日頃より財政的な支援を頂戴していることに感謝する紙面とした。

- ・また、第23回世界スカウトジャンボリー（23WSJ）が山口県で開催されました。

世界155の国と地域から33,600人余の青少年が集まって、7月28日から約2週間に亘って開催され、京都からは164名のスカウトとスタッフが派遣された。そして、ジャンボリー開催期間前後に世界各地から集まったスカウトは、日本各地に分散し、ホームステイや日本探訪を行い、京都にはイギリスから80名、イタリアから320名、スウェーデンから200名の受入れで、ホームステイや地元スカウトとの交流会が行われ、それぞれ振興会から助成金を交付した。

- ・指導養成のためのプログラム企画運営事業においては、平成28年1月10日にスカウト報告会を京都テルサ大会議室で開催し、115名の参加がありました。23WSJおよび韓国派遣について6名から報告があり、「国際交流」の実績が参加者の体験談として語られました。
- ・さらに、賛助維持会員の増員活動を行い、14法人の加入で賛助会費510千円の収入を得え、当該会計年度は、賛助会費収入が2,450千円と前年度比+370千円となりました。

次に項目ごとに簡単に説明

- (1) のボーイスカウト行事等に対する助成協力に関しては、事業費として、総額2,800千円を支出しました。内訳は100周年事業として、1,000千円、世界スカウトジャンボリーとして、500千円を助成しました。残額の1,300千円は、京都連盟の進歩費、国際費、安全費、環境費、コミッションナー費、イベント費、ボーイスカウト講習会及びウッドバッジ実修所・研修所運営費等に必要となる事業費の一部に対して助成した。
- (2) の青少年の育成を目的とした自然体験活動のためのキャンプ企画事業に関しては、本法人が所有する広河原野営場の使用実績で、17日間、のべ人数195名。
(カ)の広河原野営場近隣における舎営施設土地建物の取得検討案に関しては、3年前に京都西ライオンズクラブのご厚意で、トイレ及びシャワー等の設備を一新したにもかかわらず、使用実績については整備前と比較しても、使用実績が向上せず、逆に減少傾向にあり、取得の必要性に関してさらに連盟との議論が必要。
- (3) の指導者養成のためのプログラム企画運営事業に関しては、先ほど概要で説明した通り、本年1月10日に開催したスカウト報告会で、世界ジャンボリーおよび韓国派遣について6名から報告があり、「国際交流」の実績が参加者の体験談として語られた。
- (4) の国際交流・国際貢献活動、社会に役立つ事業活動、環境・まち美化活動支援のための共催事業に関しては、
 - (ア) の国際交流・国際貢献活動支援につき、

23WSJ 関連のほか、姉妹連盟を締結している韓国・京畿南部連盟に1月7日～11日、スカウト4名・指導者3名が派遣され、相互の国際交流を促進した。

(イ) 社会に役立つ事業活動支援につき、

全国都道府県対抗女子駅伝競走大会が1月17日、視覚障害者マラソン京都大会が2月7日、全国車いす駅伝競走大会が3月13日にそれぞれ実施され、沿道の自主整理員として多数のスカウトと指導者が奉仕した。

(ウ) 環境まち美化活動支援につき、

例年「世界の京都・まち美化市民総行動」の行事に参加してきたが、本年度は創立100周年記念式典と開催日(11月1日)が重なり、参加できなかった。しかし、100周年事業として実施したスカウトラリーは、京都一周トレイルコース全長約70kmを全団が分担して清掃を行い、式典会場に展覧されたコースの道標の拓本は壮観である。

(5) のボーイスカウト運動の振興及び普及宣伝事業に関しては、

事業費実績として、2,831,706円(京都新聞掲載料2,311,200円、世界・京都スカウト交流関連費131,706円、ホームページ運営改革費388,800円)を支出した。

その他、賛助会費収入は、14法人の新規加入で、会費として510千円の収入を得え、当該会計年度は、2,450千円と前年度比+370千円となった。

以上で説明が終了し、諮問がなされた。

議長は出席役員一同に質問及び意見を諮り、出席役員全員一致で承認・可決された。

[第2号議案] 平成25年度 決算報告書の承認の件

樋口公認会計士より、同議案につき、別紙決算報告書に基づき説明及び諮問がなされた。

議長は出席役員一同に質問及び意見を諮り、出席役員全員一致で承認・可決された。

[第3号議案] 公益目的支出計画実施報告書の承認の件

樋口公認会計士より、同議案につき、別紙公益目的支出計画実施報告書に基づき説明及び諮問がなされた。

議長は出席役員一同に質問及び意見を諮り、出席役員全員一致で承認・可決された。

また、公益目的支出計画委実施報告書について、軽微な修正については、常務理事に一任することで出席役員全員一致で承認された。

[第4号議案] 理事・監事・評議員の選任の件

議長より新法人移行後の役員の任期について、評議員は4年、理事は2年、監事は4年と定められており、役員の方全員につき、本日付で改選すると説明がなされた。

次の方々を選任することが提案された。

評議員として荒巻隆三様、一守益男様、植田喜裕様、奥村建治様、國友政治様、西村伸次様、野村正樹様、長谷川英文様、山崎伊佐緒様の以上9名

理事として門川大作様、中村三之助様、八木 茂様、新木直人様、大西孝雄様、川西通夫様、篠田恒夫様、山科隆雄様の以上8名

監事として柳澤 傳様、福原 洋様の2名

議長は出席役員一同に質問及び意見を諮り、出席役員全員一致で承認・可決された。

以上を以って、議事をすべて終了し、議長は閉会を宣した。

この議事録が正確であることを証明するために、出席した議長及び議事録署名人は次のとおり記名押印する。なお、軽易な文言の修正は、議長に委任する。

平成28年5月18日

一般財団法人 京都ボーイスカウト振興会

議 長 山科 隆雄 ⑩

議事録署名人 福原 洋 ⑩

議事録署名人 山崎伊佐緒 ⑩

議事録作成者 一般財団法人 京都ボーイスカウト振興会
常務理事 八木 茂